



大谷大学同窓会埼玉支部主催

第22回 仏教公開講演会

大谷大学同窓会 全国縦断 夏季八十講

「幕末の京都と東本願寺」

大谷大学教授

(日本近世史・仏教史)

ひらの としのり

平野 寿則 先生



1867年10月、徳川慶喜が二条城において大政奉還を表明すると、翌68年9月に元号が「明治」と改められました。今年「明治150年」の節目にあたって、各地では関連する行事が企画されているようです。この時代の転換期、幕末の京都は、もう一つの政局の舞台となりました。文久3年(1863)将軍家茂に先駆けて一橋慶喜が上京すると、東本願寺がその宿所にあてられ、朝幕交渉の舞台ともなりました。ここでは、幕末の京都、東本願寺の視点から時代の転換期を眺めてみたいと思います。

日時：2018年9月8日(土) 午後1時30分～4時00分

会場：東本願寺 真宗会館(大会議室)

東京都練馬区谷原 1-3-7 ☎03-5393-0810

※聴講は無料です

※お問い合わせ先：川越市幸町 2-14 (法善寺) ☎049-222-2449